CRASH NEWS vol.3

Christian Relief Assistance Support + Hope

〒194-0035 東京都町田市忠生 1-8-8 町田聖書キリスト教会内　TEL.070-8487-6020　郵便振替 00110-3-290907

青森県・日本福音キリスト教会連合鯵ヶ沢福音キリスト教会にて 8 月 23 日、県内からかけつけた諸教会の皆さんと。

複合災害に備える

事務局長　**山尾 研一**

日頃のお祈りと経済的なご支援を心より感謝申し上げます。2022 年を振り返り、災害支援の現場では「複合災害」が昨年に引き続き重要な課題となりました。従来の支援活動は、スタッフが現地に赴き、県外からの一般ボランティアも参加して行われていました。しかし 2020 年以降は新型コロナウィルスの感染予防の観点から、ボランティアの募集が市内や県内に限定され、外部からの活動に制約が生じることになりました。

ウィズ・コロナの今は「感染被害」対策と「自然災害（豪雨や地震）」支援のバランスの中で、より困難な「複合災害」への対応が外部支援団体に求められているのです。

実際に 2021 年 7 月に静岡県熱海市で発生した「土石流被害」と、8 月に九州北部で発生した「豪雨被害」では外部支援活動が大きく制約を受けました（裏面）。又、今年 8 月に発生した全国的な豪雨被害では、クラッシュは青森県鯵ヶ沢町にて他 4 団体（救世軍、石巻クリスチャンセンター、九州キリスト災害支援センター、キリスト教会広島災害対策室）、大工ボランティア夫妻、青森の諸教会の方々との協働により、鯵ヶ沢福音キリスト教会（ジョン・エリオット牧師）の信徒宅の床上浸水被害の原状回復支援、つがる福音キリスト教会板柳チャペル牧師館（マイカ・ジェント牧師）の屋根修繕工事の経済的支援を行いました。

外部支援スタッフの方々

災害大国日本に住む者として、今後起こりうる「複合災害」にどのように備えたらいいでしょうか。まずは個人や教会単位での食料や水など生活必需品の備蓄（コロナ禍では 1 週間分）は必須です。次に、クリスチャンが住んでいる地域で、①防災のネットワークを作り（教会やキリスト教系の施設）、②地元自治会や、社会福祉協議会（災害ボランティアセンター立ち上げ）、行政（市町村の防災課）とつながりを持つことで、③災害発生時のために初動態勢を準備しておくことです。日頃からの地域での顔の見える信頼関係を築いておくことが発災後の活動でいかに重要であるかを、被災経験者の方々の証しから教えられています。

クラッシュでは、災害時の緊急支援活動とともに、平時の地域での教会防災ネットワークの立ち上げ支援（主に首都圏）のお手伝いをさせて頂いています。教会や教団単位での信徒セミナーや研修会に講師を派遣致します。まずは事務局までご連絡下さい。

運営面では、スタッフ全員がパートタイム・ボランティアで従事し、地域の諸教会に仕えさせて頂いています。超教派の活動の維持の為に、祈りとサポート会員へのご登録をお願い致します。

熱海・佐賀支援（2021 年 7 月～ 9 月）

熱海市における土石流被災地での活動は、オペレーション・ブレッシング・ジャパンとハンガーゼロの現地での働きに、クラッシュから単発でスタッフを現地に派遣し、後方支援に従事しました。

現地では地元の自治会の方々の要望に応える形で最も被害の大きかった熱海市伊豆山地区の在宅避難者への生活支援全般に約３ヶ月従事しました。クラッシュは、車輌（日本ホーリネス教団所有）を現地の活動に貸与し、公共交通が遮断された不便な中で、自宅避難者の足として買い物や病院通い、日帰り旅行（心のケア）に用いられました。

もう一つの活動は前年８月の九州豪雨の佐賀豪雨支援です。地元では「佐賀災害支援教会ネットワーク」が発足し、武雄ベースにて九州キリスト災害支援センターが中心となり働きが約２ヶ月間行われました。クラッシュは救世軍、キリスト教会広島災害対策室と協働して、①ダンプ車輌の貸与、②長期スタッフ（石巻クリスチャンセンターからスタッフを派遣）を武雄ベースに３週間派遣し、コロナ禍での後方支援を実施しました。

首都圏広域教会防災フォーラム

2022 年 6 月 28 日午後、御茶ノ水クリスチャンセンターにて、首都圏各地の教会防災ネットワークの方々約２０名が３年振りに対面で集い、クラッシュ主催のフォーラムが開催されました。基調講演には、全国社会福祉協議会で長年災害支援の責任を担われたオフィス SONOZAKI 代表の園崎秀治氏による、「社協による災害ボランティアセンターを通じた被災者支援活動の実際と、支援の三原則」のお話と参加者との活発な質疑応答がなされました。

中でも「被災者支援の三原則」では、①被災者中心、②地元主体、③協働の内容が話され、「何のため、誰のための支援なのか」「災害により、災害以前からの地域課題が可視化され、それらの課題に向き合えるのは地元の人だけ」「被災者に提供できる支援の幅と可能性を拡げるために、いかに多くの関係者と必要事項を情報共有するか」など示唆に富んだ話がされました。講師は最後に『「心のケア」等において、他にない強みを発揮できる場面がある今後も、災害 VC へ寄せられる活動において、一般ボランティアによる対応が困難なケースに、宗教者としての専門性を活かした活動が、連携という形で一緒に支援活動ができることが望ましい』と閉じました。

講演内容にご関心のある方は事務局までご連絡下さい。

What's CRASH JAPAN?

Christian （クリスチャン）
Relief （救 援）
Assistance （協 力）
Support + （支 援）
Hope （希 望）

サポート会員ご登録のお願い

年会費 /（個人）1 口 3,000 円
（団体）1 口 5,000 円 ※運営のために用いられます。

活　動　私たちは、東日本大震災以後も日本各地で発生したさまざまな災害発生の際には、地域教会や教会ネットワークと協力してボランティア派遣、ボランティアセンターの運営、ボランティア・ケアなどの支援をしてきました。他にも首都圏を中心に誕生している８つの教会防災ネットワークへの協力や諸県の教会や教会ネットワークが開催する心のケア・セミナーへの協力などをしています。

協力・連携　私たちは他の諸団体と連携して活動することを心がけ、日本福音同盟（JEA）、キリスト全国災害ネット（全キ災）、Japan Evangelical Missionary Association（JEMA）などと協力関係にあり、JEA 援助協力委員会のオブザーバー会員です。又、クラッシュジャパンの信仰基準は JEA の信仰基準に準じています。

組織・運営

■事務局　運営委員会：永井敏夫、山田智朗、内山忠信、郭ヘレン、山尾研一（事務局長）
スタッフ：カレン・エルリック　顧問：小坂叡華

■役員（理事・監事）　理事：永井敏夫（代表）、山尾研一（副代表）、ケン・テーラー、樋野興夫、山田智朗、内山忠信。
監事：三浦寿夫、沼澤克巳（2022 年 12 月現在）

※有山敏氏、小坂叡華師が退任されました。長期に渡るご奉仕に心より感謝申し上げます。

住 所　一般社団法人クラッシュジャパン
〒194 -0035 東京都町田市忠生 1-8-8
（町田聖書キリスト教会内）
Tel　070（8487）6020
Email contact@crashjapan.com

緊急支援活動のための献金のお願い

クラッシュの働きは、皆様からの献金で運営・維持が継続可能となっています。
引き続き、ご支援とお祈りをお願い致します。

振込先　◆郵貯振替口座 0011-3-290907
◆ゆうちょ銀行【記号】10070【番号】52873831
他金融機関からの振込の場合：【店名】〇〇八（ゼロゼロハチ）【普通】【口座番号】5287383

※領収書が必要な方はその旨メールにてご連絡下さい。